

の解明)

早川卓志(課程)：霊長類における苦味受容体遺伝子の分子進化と生態適応

Pomchote Porrawee(課程)：Age-related changes in bone morphometry, densitometry and osteoarthritis in macaques (マカクにおける骨の計量形態、密度、および変形性骨関節症の年齢変化)

京都大学修士(理学)

伊藤聡美：ワオレムール(*Lemur catta*)オスにおける前腕臭腺分泌物の季節変化

小笠原宇弥：ドーパミン神経シグナルが行動抑制に果たす役割

北島龍之介：発生生物学研究ツールとしての霊長類 iPS 細胞の作成

豊田 有：嵐山の餌付けニホンザル群における高齢メスの生殖関連ホルモン動態と性行動との関連に関する研究

西栄美子：行動実験と分子実験によるヒトとニホンザルの甘味感受性比較

宮田晃江：屋久島におけるヤクシマザルの集団の分布とその変遷

安河内竜二：運動学習の神経メカニズム解明に向けたマカクにおける行動解析手法の開発

山口佳恵：ドーパミン D1 受容体機能の社会生態学的役割—ニホンザルグループケージを用いた実験的検討—

4. 外国人研究員

招へい外国人学者・外国人共同研究者

H Bouchet(フランス共和国、セント・アンドルーズ大学・博士研究員)

(2012.8.20~2015.7.19)

受入教員：正高信男

研究題目：野生ニホンザルの同種内—異種間コミュニケーションの様相に関する比較認知科学的研究

CFE Watson(京都大学霊長類研究所・研究員(特別教育研究))

(2012.11.30~2014.11.29)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：霊長類における任意慣習と意思疎通ジェスチャーの文化的伝達

SJ Hyniewska(京都大学霊長類研究所・研究員(最先端・次世代研究))

(2013.9.1~2014.8.31)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：日本人における表情の符号化と解読の検討

L Morino(ラトガス大学・講師)

(2013.9.20~2014.9.19)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：類人猿テナガザルの利き手と高次コミュニケーションに関する観察研究

P Sujiwattanarat (カセサート大学・研究員)

(2013.12.18~2014.11.30)

受入教員：古賀章彦

研究題目：霊長類での反復配列の分子進化

CM Gonseth (ピエール・メンデス・フランス大学(グルノーブル大学)・研究補助員)

(2014.3.2~2015.3.1)

受入教員：友永雅己

研究題目：ヒト以外の霊長類のコミュニケーションにおけるマルチモーダル性についての比較研究

A Schlegel(リバー・バレーコミュニティーカレッジ・講師)

(2014.6.17~2014.8.19)

受入教員：松沢哲郎

研究題目：EAPSI：Use of metaphors by chimpanzees (*Pan troglodytes*)

I Foitova(マサリク大学・理学部 研究者)

(2014.11.22～2014.12.6)

受入教員：Huffman Michael Alan

研究題目：野生オランウータンにおける自己治療行動と寄生虫感染症に関する研究

JCM Sha(シンガポール野生動物保護区 保全調査部門・学芸員)

(2014.11.28～2016.11.27)

受入教員：半谷吾郎

研究題目：ニホンザルの社会構造の差異：飼育群・餌付け群・野生群の比較

Zhou Qihai(広西師範大学・教授)

(2015.3.9～2016.3.8)

受入教員：半谷吾郎

研究題目：中国の霊長類の生態学的研究

5. 日本人研究員・研修員

日本学術振興会特別研究員(PD)

川上文人(2013.4.1～2016.3.31)受入教員：友永雅己

研究題目：笑顔の起源：ヒト科を対象とした比較認知発達科学

佐藤宏樹(2014.4.1～2017.3.31)受入教員：湯本貴和

研究題目：マダガスカル産大型種子植物の繁殖成功における霊長類種子散布の有効性

鴻池菜保(2014.4.1～2015.4.30)受入教員：中村克樹

研究題目：ヒトを含む霊長類におけるリズムの時系列情報および運動パターン情報の脳内表象

6. 研究集会

所内談話会

第1回：2014年4月2日(水)

Ian McCarthy(Wildlife filmmaker, produce, photographer)

「Ian McCarthy: From Life in the Freezer to Frozen Planet - 27 years as a wildlife cameraman」

第2回：2014年10月10日(金)

Vladimir Kefalov(Washington University School of Medicine)

「Calcium homeostasis in mammalian photoreceptors」

第3回：2014年11月6日(木)

PWS students and other participants

「Report of Yakushima field work and genome training course, fall 2014」

第4回：2014年11月13日(木)

Saori Takahashi(大阪大学蛋白質研究所)

「マウス半数体ES細胞株の樹立とその特性」

第5回：2014年12月17日(水)

「Title: アデノ随伴ウイルス血清型9ベクターによる動物脳内への遺伝子導入」

Ayumu Konno (群馬大学大学院医学系研究科)

「Subtitle: AAV9による遺伝子導入と疾患モデル動物の作出 ～マウスにおける実践例～」

Yasunori Matsuzaki (群馬大学大学院医学系研究科)

「Subtitle: AAV9ベクターを用いたマーモセットへの遺伝子導入例」

第6回：2015年3月16日(月)

Ednaldo Da Silva Filho(Universidade Federal Rural da Amazônia-Brasil)

「Genetic polymorphisms and expression profiles of beta-defensin 112 gene (DEFB112) in eyelid membranes associated with the respective microbial community in the Amazon region Buffaloes」

Taianara Tocantins Gomes Almeida(Universidade Federal do Pará at instituto de Nutrição)

「Influence of gluten in gene expression of defensin and toll like receptor in blood cells of Saguinus fuscicollis」